

▶フレーション、知人らを「接遇」
▶都庁内部の「支出基準」に違反

「交際費」の闇

「驚くべき公私混同ぶり」と都幹部OB
秘書課も「使途の詳細」を把握せず…

「これは驚いた。知事の友だちばかりじゃないですか。公私混同と言われても仕方がないでしょうね」

入手した知事交際費の現金出納簿を見せると、都幹部OBは目を見張った。

本誌は03年11月、都に複数の資料の情報公開を請求した。その中の一つが知事交際費の現金出納簿だ。

東京都の場合、知事、副知事、特別秘書など幹部が支出する交際費を知事交際費として管理している。秘書課が作成する現金出納簿は、いつ、誰に対して、どのような用途で、いくら使ったかが分かる帳簿だ。

3年保存の公文書のため、入手できたのは石原氏が知事に就任した翌年の2000年4月以降のものだ。そこには支出相手として、石原知事と関係が深い人物の名前が多数登場する。例えば次のような名前だ。氏名

のみしか記されていないことが多く、同姓同名の別人の可能性がないではないが、当人の可能性が極めて高いのは言うまでもない。

「高橋松作様」「徳田虎雄様」「唐津一様」「日高義樹様」「福田和也様」「鈴木壮治様」

——高橋氏は建設会社社長で、「六奉行」と言われる側近の一人。徳田氏は「石原新党」の旗振り役でもある自由連合の衆院議員。唐津氏は東海大教授でIT分野の専門家。今は都の参与に就任している。日高氏は元NHKワシントン支局長で米国シンクタンクの研究員。福田氏は評論家。鈴木氏は一橋大の後輩で石原氏のブレーンである。外国の要人も目立つ。

支出は複数の人物との会合がほとんどだが、額は1回当たり、お茶代程度から50万円以上の高額もある。

東京都の場合、交際費の

支出項目として「慶祝」「弔慰」「見舞い」「会費」「接遇」「その他」がある。だが、目立つのは27のグラフに掲げたように、「接遇」の突出ぶりだ。1件当たりの支出も他の自治体に比べて高額

「知事にコスト意識があるのか」

だが、前出の都幹部OBは言う。

「顔をぶれを見る限り、ほとんどが石原さんでしょう」別の都幹部OBが嘆く。

「こんな使い方をしているとは知らなかった。知人やブレーンとのメシ代にして

いるようにしか見えない。高官接待が問題になって以降、幹部職員はみんな自腹で交際費を払っているんですよ。歳出削減のために給

なものが多い。接遇とは都の定めた支出基準によると「来客の飲食、茶菓」「懇談」とある。要は接待費だ。もちろん、石原知事ではなく、副知事以下が支出した可能性もある。

与カットも引き受けた。財政再建を言う石原知事自身にコスト意識があるのか、疑問を感じますね」

もちろん、都政のための情報収集に必要という理由は成り立つだろう。だが、都秘書課によると、一件一件の「接遇」で都政に寄付するどんな話し合いがあったのかは「今となっては分からない。文書にも残らない」(中野透・秘書課長)という。「雑」「その他」の費

第1弾

「知事」

大胆な発言で注目を集める石原慎太郎・東京都知事(元)。だが、それ以前に自治体トップとしての仕事ぶりを検証する必要があるのではないか。本誌は情報公開制度を利用して各種の資料を入手した。まずは知事交際費をめぐる「闇」を報告する。

本誌・回下部隊

石原慎太郎研究



1810					
年	月日	備 考	受 取		
4	12	6 公報知事 / 警による資金前渡受	2000000		
		1 雑費 鈴木 隆三様 120	12000		
		17 雑費 中島 秀太郎様 120	12000		
		18 雑費 新井 敏彦様 120	12000		
		24 雑費 佐藤 文生様	20000		
		25 雑費 大内 啓彦様 120	20000		
		4月計			2000000
		累 計			189275
		5	5	15 公報知事 / 警による資金前渡受	2000000
				1 雑費 小川 昌三様	10000
				16 雑費 倉入	20000
				17 雑費 新井 敏彦様 120	12000
18 雑費 加藤 幸代	10000				
1 (取 → 送) 20,000-	20000				
20 雑費 加藤 幸代	10000				
21 雑費 和田 康彦様 120	12000				
5月計				1500000	
累 計				400000	
6	6			2 公報知事 / 警による資金前渡受	2000000
				5 雑費 藤田 幸代 120	12000
		7 雑費 佐藤 文生様	11500		
		8 雑費 新井 敏彦様 120	12000		
		9 雑費 佐藤 文生様 120	12000		
		10 雑費 新井 敏彦様 120	12000		
		11 雑費 中島 秀太郎様 120	12000		
		12 雑費 佐藤 文生様	11500		
		21 雑費 <1874-N> 120	12000		
		23 雑費 川島 忠一様 120	12000		
		6月計			600000
		文 庫 編 集 計			2000000

支出基準違反の疑いのある 主な支出一覧

(単位は円)

12.	5.30	雑	和田宗春様ほか	30000
	6. 5	接遇	棚橋参与様ほか	11540
	6.23	接遇	川島忠一様ほか	11230
	7. 6	雑	棚橋泰様ほか	416365
	8.11	雑	冬柴鐵三様ほか	200072
	9.22	雑	棚橋参与様ほか	7230
	11. 1	接遇	棚橋参与様ほか	287625
	11. 1	雑	徳田虎雄様ほか	213255
	11.14	接遇	棚橋参与様ほか	74351
13.	3.21	雑	渡辺喜美様ほか	189945
	4. 3	接遇	棚橋参与様ほか	12240
	4.17	その他	棚橋参与様ほか	242250
	5.29	その他	扇千景様	15420
	8.21	接遇	棚橋参与様ほか	371648
	10.15	接遇	小林興起様ほか	26000
	10.24	その他	麻生太郎様ほか	172935
	11.27	接遇	棚橋参与様ほか	284650
14.	1.17	接遇	今村有策様ほか	16642
	3.13	接遇	棚橋参与様ほか	320135
	7. 5	接遇	今村有策様	20895
	10. 3	接遇	今村有策様ほか	20800
15.	1.14	接遇	今村有策様ほか	125774
	2.18	接遇	小林興起様ほか	10800
	4. 8	接遇	今村有策様ほか	106575
	5.12	接遇	今村有策様ほか	46130
	6.18	接遇	棚橋泰様ほか	341092

目で数十万円単位の支出もあるが、それも具体的に何に使われたのか分からないという。都民から預かった税金の使い方が説明できないのはおかしくないか。「そういうご意見もあるかもしれませんが。ただ、青島(幸男・前知事)都政時代に比べて、石原知事はさまざま政策を先行している。それを考えれば、この程度の支出は許されるのではな

いか。それに、知事が自己負担している飲食は、ほかにいろいろあるでしょう。都政の課題について意見を聞いたものについてだけ交際費を支出するという考え方でやってらっしゃると思います。すべてをガラス張りにするというやり方もあるでしょうが、政策決定過程は明らかにしたくないという部分もあると思います(前出・中野課長)

だが、そもそも交際費を飲食に支出すること自体、全国の自治体の中では珍しいケースなのである。行政の情報公開制度の情報収集をするNPO「情報公開クリアリングハウス」の三木由希子室長もこの現金出納簿に「びつくりした」という。「今どき、こんな自治体はないでしょう。同族会社のおーナー社長の使い方です

全国的に進む「知事交際費」公開

ね。全国的に首長交際費は縮小傾向にあり、接遇に使う自治体はほとんどない。慶弔など儀礼的に使うのが主流になっていきます」と。たとえば岡山県の石井正弘知事の場合――。「知事はお客さんとの飲食

はすべてポケットマネーで出している。昼食もです。今どき、食事代を公金から出す都道府県はいんじやないですか(秘書課)自治体の交際費の使い方、より厳密さが求められる時代になっている。

たとえば、01年6月に広島県の藤田雄山知事が県議

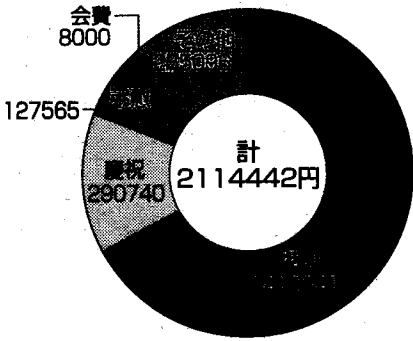
たり10万円を超すような多額の支出はない。「改革派」としての姿勢をアピールするため、交際費の公開を選挙公約にする知事も増えている。

03年9月に就任した上田清司埼玉県知事の場合はこうだ。選挙時に「知事の交際費を100%公開する」とのマンIFESTOを発表。上田知事誕生後、同県は同月分から知事交際費の支出額と相手先を毎月県のホームページに掲載している。03年11月を例にとると▼航空祭へのお祝い115000円▼市町村長との意見交換会における懇談会費15

万。全国的に首長交際費は縮小傾向にあり、接遇に使う自治体はほとんどない。慶弔など儀礼的に使うのが主流になっていきます」と。たとえば岡山県の石井正弘知事の場合――。「知事はお客さんとの飲食はすべてポケットマネーで出している。昼食もです。今どき、食事代を公金から出す都道府県はいんじやないですか(秘書課)自治体の交際費の使い方、より厳密さが求められる時代になっている。

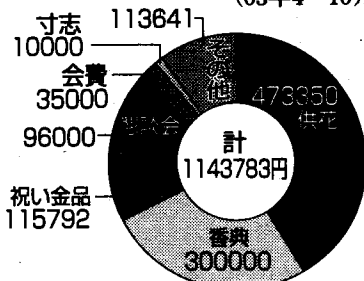
東京都の知事交際費

(03年4~10月)



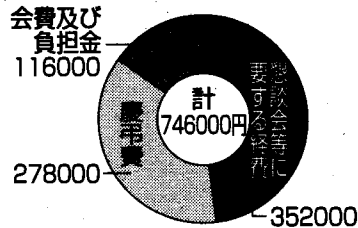
北海道の知事交際費

(03年4~10月)



三重県の知事交際費

(03年4~9月)



北海道と三重県は「懇談会」が「接遇」に該当（各道県のホームページより作成）

000円。県議会各会派代表者との懇談会が20万4000円の計2回（知事室）と回答は明快だった。

ただ、懇談の飲食費を、交際費ではなく食糧費から支出する県もある。例えば、岐阜県は知事の懇談のために食糧費から昨年度は約12万円を支出したという。ちなみに、東京都には食糧費という予算はない。

000円。名刺点字打ち込み代15995円——といった具合だ。

同県に限らず、ホームページで知事交際費の執行状況を公開する自治体は多い。本誌が調べたところ、03年末現在、全国の47都道府県のうち26道府県がホームページで公開している。また、秋田県は県の施設で文書を常時閲覧できる。

その中でも「懇談」が比較的多かった北海道と三重県を上のグラフにしてみたが、それでも東京都の「接遇」の多さが突出しているのは明らかだ。

内容についてはどうか。北海道（高橋はるみ知事）は相手全員の肩書と氏名がホームページに載っている。グラフに掲げた期間で最も高額だったのは03年7月13日に支出された内閣府特別顧問、島田晴雄氏ら3人に対する6万円だった。

三重県（野呂昭彦知事）は取材に対して「新旧県議会議長との懇談会が14万8

000円。県議会各会派代表者との懇談会が20万4000円の計2回（知事室）と回答は明快だった。

ただ、懇談の飲食費を、交際費ではなく食糧費から支出する県もある。例えば、岐阜県は知事の懇談のために食糧費から昨年度は約12万円を支出したという。ちなみに、東京都には食糧費という予算はない。

「高度な政治的判断で許容願う」

他府県と比較すればするほど、東京都の「独自性」が浮き彫りになる。

しかも、都の知事交際費の支出には、まだ問題がある。石原知事の就任直前に定められた支出基準に違反しているのだ。

この支出基準は、官公接待問題を背景に、青島前知事が作った有識者による検討会「交際費を考える会」の報告に基づいて1999年1月に定められた。この支出基準によれば、

石原知事と同じ作家出身の田中康夫・長野県知事の場合はどうか。

「飲食を伴う懇談の費用は食糧費から出します。年3〜4回、計10万〜15万円程度。国会議員との意見交換会などです。それ以外は知事が自己負担しています。県民に説明できないような執行はしないという方針です」（広報広聴グループ）

選任されている棚橋泰氏。羽田空港や横田基地関連で石原知事をサポートしているとされる。今村有策氏は建築家で01年12月から文化行政分野の参与。「芸術家である石原知事の四男の友人」（都職員）で、石原知事の肝いりで開設された美術館「トーキョーワンダーサイト」の館長も務める。

参与は、専門的立場から知事に助言をする役職だ。条例で非常勤の都職員と定められ、月35万1000円の報酬が支払われる公務員である。この3年間で、棚橋氏の名前で計約236万円もが支出されている。今村氏の場合は約33万円だ。

「今の参与はもともと石原知事のブレンで、自分の関心のある分野をサポートさせるために連れて来た。部下と同じですよ。そういう人たちに飲み食いの費用を出しているのは理解できない」（前出・都職員）

議員や参与への交際費支出は支出基準違反ではない

2004年、
幸せをつかむ秘訣!

縁起がよくなる話

現代の「むらじへ長書」になる法則 ■よい縁をまけば、よい果実を手に入れることができる ■今年こそ「縁起の理法」で幸福になろう!

自殺防止に世界は
どう取り組んでいるか

天国組と地獄組

資金繰り改善のヒント

人生の羅針盤

大川隆法

痴呆症の対処法

第30回 (全4回)

追いつめられる前に読んでおきたい!

心の総合誌 ザ・リバティ
Liberty
2月号 定価520円(税別) 送料別
幸福の科学出版 www.irhpress.co.jp

のか。前出の中野秘書課長が答える。

「まあ、厳密に言えばそうですね。基準をオーバーしている部分はある。ただ、

参与は世間的には民間有識者という認識でしょう。議員さんについては、ディー

ゼル車規制だとか、横田基地の返還だとか、いろいろな人の理解を得なければなら

ない政策が多かった中で、夜、飲食しながら話を聞く

必要もあつたと思う。今の支出基準は官官接待を背景

にした厳しめの基準です。もちろん知事にも説明はし

ているが、石原知事の政治スタイルから考えると、絶対

と違って、高度な政治的判断として許容される部分はあつていいと思いま

す」では、接遇の経費はどのような手順で支出されるの

だろうか。「知事から『今度飲食を伴う接遇がある。後で請求書

が行くからよろしく』と言

知事は「コメントの必要もない」

これでは結局、交際費での飲食は石原知事の「良識

だけに任されていることになる。誰もチェックできない。前出の都幹部OBは言

う。「知事は支出基準など頭のないのではないか。でも、

われることが多い。相手については、正直言つて後から『これ、相手誰ですか』

と尋ねて『〇〇さんほか、ということにしてください』

と言われることが多い。知事本人より特別秘書を介してが多いですね。どんな内容の会合かの説明はないで

す」(中野課長)

残念ながら、事務方から「やめてください」とは言えないでしょう。知事に向かつて何も言えない体制にな

つてしまつている。都庁OBでもある佐々木

信夫・中央大教授(行政学)はこう指摘する。

「もし、石原知事がこの現金出納簿をホームページで公開したら、果たして都民

に納得してもらえうでしょうか。特定の人に対する接

遇が繰り返されて異様な感じがする。この使い方を見る限り、一政治家として自

身の政治活動費から出すべき性質の支出が多いと思

ます」

都の03年度一般会計予算は約5兆7000億円。その中で4、10月までに支出

された知事交際費は約211万円。ごくわずかである。だが、佐々木教授はこ

う語る。「予算の執行機関の長として、政治エリートとして、知事が最も自らを厳しく律

しなければならぬのが交際費の使い方でしょう」

石原知事は1期目当選直後の『毎日新聞』のインタ

ビューに対して「知事交際費は全面公開する」と答えている。求められなくても

積極的に公開するということ意味ではなかつたのか。

石原知事自身は交際費をどうとらえているのか。本誌は取材を申し入れたが、「応じる時間がない。コメントを出す必要もないという

のが知事の意向」(秘書課)と拒否された。現金出納簿が開示された後、本誌は支出ごとの会計書類の開示を請求した。開

示され次第、その詳細を報告したい。